

もくじ

- ・ あかいろうそくと にんぎょ

あかいろうそく  
と  
にんぎょ

げんさく： おがわ みめい

イラスト： コトコト

へんしゅう： イエローボードプロジェクト



3

にんぎょが すんでいたのは、あおく つめたい、  
きたの うみでした。

あるばん、にんぎょは みなもに うきでた  
いわに あがって、あたりの けしきを  
ながめていました。

ときおり、くものすきまから こぼれた  
つきのあかりが、うみのうえを  
さびしく てらしていました。

にんぎょは ながいあいだ、  
はなしをする あいても なく、  
いつも あかるい うみのうえで くらす  
にんげんたちに あこがれていました。

(わたしたち にんぎょの すがたは、  
にんげんと ほとんど かわらない。  
それなのに なぜ にんぎょは  
にんげんではなく、こんな つめたい  
うみのなかで、さかなたちと いっしょに  
くらさなければいけないの?)



5

にんぎよは じぶんのおなかを  
やさしく なでました。

にんぎよの おなかのなかには、  
こどもがいました。

(これから うまれてくる こどもには、  
こんな くらい、かなしい せいかつは  
させたくない。  
はなればなれで ぐらすのは さびしいけれど、  
どこにいても げんきで ぐらしていて  
くれるのならば、それだけでいい。  
にんげんは みな やさしいひとばかりだから、  
きっと このこも かわいがってくれるはず)

しばらくして、にんぎよは ぐらく つめたい  
うみをおよいで、りくちに むかいました。

はるか かなた、かいがんの こだかい  
やまにある じんじゃの あかりが、  
なみまに うかんで は きえていました。

